

南極報告5



森林研究部門 森林防災研究領域

チーム長 竹内 由香里

南極での仕事を終えて日本へ帰る57次夏隊と56次越冬隊を乗せた南極観測船「しらせ」は2016年2月14日に帰路につきました。海洋観測を行う海域を目指していたところ、悪天のためオーストラリアのモーション基地付近で座礁した同国の南極観測船「オーロラ・オーストラリス」の救援要請がありました。そこで急遽、モーション基地に避難している隊員らを「しらせ」で同国の別の南極基地であるケーシー基地まで輸送することになりました。日本の観測隊員60名に加えて突然66名のオーストラリア隊を受け入れることになったので、寝る場所を用意するだけでも大変です。2段ベッドを3段ベッドに改造し、倉庫から予備の寝具を運んで準備しました。日本の南極観測60年の中でも前代未聞の出来事でした。思いがけず船内で1週間の同居生活をして友好を深めたオーストラリア隊をケーシー基地に下ろした後、「しらせ」は北上を続けて予定通り3月24日にシドニーに入港しました。4ヶ月ぶりに見た草木の緑がとても新鮮でありがたいという強い印象を受けました。私たち観測隊員はシドニーで下船し、空路で帰国しました。(完)



写真2 「しらせ」の飛行甲板上に集う日豪両国の隊員たち(2016年3月11日)



写真1 モーション基地から「しらせ」の飛行甲板上に到着したオーストラリア隊のヘリコプターと隊員ら(2016年3月6日)



写真3 海氷上のコウテイペンギンとアデリーペンギン(2016年3月12日)



写真5 海氷上のコウテイペンギンの群れ
(リュツォ・ホルム湾にて 2016年2月11日)



写真4 海氷上のウェッデルアザラン
(リュツォ・ホルム湾にて 2016年2月11日)



写真7 クジラ(ケーシー基地沖にて 2016年3月11日)



写真6 シャチの群れ(ケーシー基地沖にて 2016年3月11日)